



みんながつながり 夢を育てる学校に

国立二小だより

平成30年7月20日
国立市立国立第二小学校
校長 小林 理人

国立二小恒例 夏の「がっこう(楽校)(合校)」ハンパない!

校長 小林 理人

子供たちが待ちに待った夏休みが明日から始まります。

国立二小の夏休みは、子供たちの笑顔があふれる「楽校(がっこう)」です。学期中には味わうことのできない喜びや感動がたくさんあります。そして、その活動を支えているのは保護者、育成会を中心とした地域の皆様です。国立二小の夏の「楽校」は子供たちの笑顔のために、みんなの知恵と力を合わせた「合校(がっこう)」でもあるのです。

「学校に泊まる会(防災宿泊体験)」で幕をあげる夏休み

国立二小の「がっこう」は「学校に泊まる会」で幕を開けます。

今年は定員の関係で4年生以上が参加をして、様々な体験をします。目的が「防災」ということもあり、避難所の生活を想定した体験が中心です。6年生がリーダーとなり楽しみながら防災の意識を高めていきます。PTA校外委員会の皆様が中心となって準備を進めてくださいました。当日は、育成会やお手伝いの保護者の皆様のご協力でご協力で食事づくり(カレーライス)や防災講座等を行います。体育館にマットを敷いて一晩を過ごす体験では、硬い寝床や暑さと闘いながら、改めて家族や日常の有難さを感じる子供たちも多いようです。

平成15年から続く国立二小の伝統「二松クラブ」

「地域の大人が子供たちに知恵や技を伝えよう」「子供たちと一緒に楽しい時間を過ごそう」

15年間途絶えることなく続いている国立二小の子供たちを思う私たち大人の「心」です。そして、この「心」が二松クラブを支えています。

今年も、保護者ボランティアの皆様のご協力で、たくさんの子供たちが保護者や地域の皆様の講座に参加します。今年も子供たちが楽しみにしている「ワクワク」「ドキドキ」の講座がたくさんあります。そして、今回、二松クラブが新聞で紹介されることになりました。発行日は未定ということですが、23日(月)はその取材が予定されています。国立二小が保護者や地域の皆様と培ってきた子供を思う「心」が、これからの学校づくり、地域づくりのモデルとして広く発信されることはうれしいことです。

芝生の上で地域の盆踊り

学校を会場として開催される地域の盆踊りは国立二小の風物詩です。今年は、7月28日(土)に西の会、8月4日(土)に三和会が行います。子供たちはこの盆踊りを楽しみにし、毎年たくさん参加します。準備には、地域の皆様と一緒に二小を巣立った卒業生も参加し、支えています。そして、学校からは6年生が参加し、二小伝統のソーラン節を披露します。このつながりが地域と学校の絆を育て、国立二小の夏の「がっこう」をつくっています。

さあ、**楽しさハンパない国立二小の「がっこう」**の始まりです。

※二松クラブの取材に伴い、写真やコメントが記事に掲載される場合があります。配慮が必要な場合は、副校長までお知らせください。

※1学期の皆勤賞は**242人**(全体の65%)でした。皆勤を支えてくださった皆様に感謝します。